



ゴルフが変わる!

Body Tune-up

ボディ・チューンナップ¹⁴

実践編

文=小森 剛／(有)ゴルフハウス湘南・ティーチングプロ

指導=武居晶子／鎌倉天園YOGAゴルフスクール・ティーチングプロ

取材協力=朝日観光(株) 鎌倉パブリックゴルフ場

50歳を過ぎてか

股関節の柔軟性

この連載では、ボディ・チューンナップ（身体を整えよくすること）でゴルフの上達を図る方法についてお伝えしています。ボディ・チューンナップ上達法は、ハルメソッドという最新の身体運動科学に基づいた運動プログラムです。一人ひとりが本来持っているパフォーマンス（能力）を最大限に引き出し、効率的にゴルフの上達へと導くものです。

前回は、多くのゴルファーを悩ますスウェーとヘッドアップについて解説しました。スウェーとヘッドアップは、ボディ・チューンナップを施すことで自然に解消されます。この時、重要なキーワードは軸とコアでした。

この軸とコアは、今回から数回にわたってお伝えする「飛距離アップ」というテーマでも語らずにはいられない重要な概念です。もう一度、前回号もお読みになつてください。

さて、「より遠くへ飛ばしたい」という思いは、ほとんどのゴルファーが持っている願望だと思います。飛距離アップに関する書籍やレッスン記事はとても多く見られます。しかし、残念ながらプロゴルフアーやアスリート系ゴルファーのような、恵まれた肉体や優れた運動能力を、誰もが持ち合わせているわけではありません。この連載では、

年輩の方や非力な人、経験のない女性でも「座」をテーマに考えてみた

ます。**飛ばすための運動**についておさらいして

います。

ゴルフスイングは、頭

から足に抜ける縦軸の方向に回転する運動です。「回旋」といいます。そして、身体の重心で、体幹とあります。東洋的にはいわれ、おへそから下3回にあり、軸の安定化にしています。

そして、飛ばしのパワーから生れます。ま回旋動作が行われ、続（腰から背中）→三角筋腕の順に筋肉が動き、徐度をクラブ、そしてボールを増しながら生み出せます。このことを、原則（キネティック・チ

呼んでいます。

この時、体幹の回旋運動を行うことが必要です。軸とコアが整った状態